

ご存知ですか？

エコマーク「ホテル・旅館」の認定制度

エコマークは、日本で唯一、ISO（国際標準化機構）の国際規格に則って運営するタイプⅠ環境ラベル（ISO14024）です。商品分野ごとに設定された基準に基づいて審査し、認定されるとエコマークの表示が認められ、環境保全に配慮した商品（サービス）であることの証となります。エコマークは今年の2月で30周年を迎えますが、最近ではサービス分野の認定が増えています。例えば「飲食店」では2,500店舗以上が認定されています。



新しいエコマーク「ホテル・旅館 Version2」認定基準では

自社の業種（ラグジュアリーホテル、シティホテル、ビジネスホテル、旅館など）や特色を活かしながら、環境配慮に取り組みやすい構成となりました。

①国連「持続可能な開発目標」（SDGs）、省エネ法 ベンチマーク制度などへの対応や社会的な関心の高い項目が基準に含まれています
⇒基準項目は、自社での環境配慮の取組み指針となります

②申請時の負担を極力減らしています
⇒申請書類の作成を減らし、現地確認を中心に審査します
チェーン展開する複数のホテルを一括で審査することが可能となりました

エコマーク認定を受けることにより・・・

①消費者の認知度が90%を超える¹エコマークで、環境面でも配慮が行き届いていることをアピールできます
⇒海外からのお客様にもわかりやすいコミュニケーションツールとして、エコマークや下記の取組み内容を示すマークを客室や備品などに表示できます



お客様との
エコ活動



エコな備品・
設備をつかう



ごみを減らす



省エネ



節水



エコな
施設運営

②環境経営を統合的に進める（ガバナンス強化）ためのツールとして活用できます
⇒従業員の取組み意識向上が期待できます

③企業の社会的評価（イメージアップ）につながります

認定基準など詳しくは、右記「NEW」をご覧ください。<https://www.ecomark.jp/service/>

¹ エコマーク認知度調査報告書（2015年3月）より